

## 盛岡まちかど森林教室を開催しました

盛岡森林管理署では例年森林・林業に関する知識や知見を広めるため、職員又は外部の有識者を講師とする勉強会（「盛岡まちかど森林教室」）を開催しております。

平成 30 年度の「盛岡まちかど森林教室」では、国立研究開発法人 森林研究・整備機構森林総合研究所東北支所より、生物多様性研究グループ主任研究員 工藤琢磨様と育林技術研究グループ主任研究員 齋藤智之様を講師にお招きし、下記のとおり講演いただきました。

○日時：平成 30 年 10 月 26 日（金） 13 時 30 分～15 時 00 分

○会場：盛岡森林管理署 会議室

○講演者：国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所東北支所  
工藤琢磨 氏「国内猛禽類がさらされる新たな脅威」  
齋藤智之 氏「全国に拡大しつつあるスズタケの一斉開花現象」

### ○講演概要

#### （1）国内猛禽類がさらされる新たな脅威（工藤氏）

岩手県でも広域的に発生している松くい虫被害によるアカマツの大量枯死。それが与える悪影響はマツ林のみならず、アカマツを好んで営巣する猛禽類、ひいては生態系全体にも及ぶということについて、県内のみならず全国的な猛禽類の調査結果をもとに講演いただきました。



## (2) 全国に拡大しつつあるスズタケの一斉開花現象（齋藤氏）

ササ類は長寿命で種ごとに決まった開花周期があり、しばしば広域に一斉開花し枯死する現象がみられ、スズタケについては近年になって各地から一斉開花の報告が寄せられています。2017年に愛知県東部を中心に発生した一斉開花の調査結果について、過去の記録と比較しながら講演いただきました。



本森林教室には林業関係者のほか、一般市民の方にもご参加いただき、森林・林業に関する知見を深める機会となりました。また、講演後には参加者から次々と質問が飛び出し、活発な質疑応答となりました。

今回本森林教室のためお忙しい中講演していただいた森林総合研究所東北支所の工藤様、齋藤様、また窓口対応していただきました田端様に心より感謝申し上げます。